

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公表番号】特表2007-519501(P2007-519501A)

【公表日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-027

【出願番号】特願2006-551647(P2006-551647)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/34 (2006.01)

A 6 1 B 17/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/34

A 6 1 B 17/28 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月25日(2008.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

管腔を内部に定め、かつ、近位端および遠位端を有する細長いシャフトと、  
細長いシャフトの遠位端に動作自在に装着されて組織を操作する移動先端部と、  
細長いシャフトの近位端に動作自在に接続されて細長いシャフトを介して外科手術部位  
まで灌注液を選択的に搬入し、外科手術部位から灌注液を選択的に排除する弁組立体と、  
を備えることを特徴とする外科手術装置。